

農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法

令和4年10月12日現在

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ アブラムシ類 アザミウマ類 ネキリムシ類 ウリバ類	400倍	セル成型育苗トレイ 1箱またはパー ハーポット1冊 (約30×60cm、 使用土壌 約1.5～4L) 当り0.5L	育苗期後半 ～定植当日	1回	灌注	4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内)
はくさい	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 アブラムシ類						4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の散 布は3回以内)
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ アブラムシ類 アザミウマ類						4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の処 理は3回以内)
レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ ヒメアゲハ類 アブラムシ類 ウリバ類						4回以内 (定植時までの 処理は1回以 内、定植後の散 布は3回以内)
カリフラワー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ						1回
しそ	アブラムシ類						
ねぎ	タマネギハエ タネハエ ネキリムシ類 シロイモシヨトウ アザミウマ類 ハモグリハエ類 ネキリムシ類	2000倍	0.5L/m ²	収穫7日前 まで		株元 灌注	4回以内 (定植時まで の処理は1回以 内、定植後 の処理は3回 以内(但し、 株元灌注は 1回以内))
	シロイモシヨトウ アザミウマ類 ハモグリハエ類 ネキリムシ類						

(つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
ほうれんそう	ハスモンヨトウ	2000 倍	0.1L/m ²	収穫 7 日前 まで	1 回	株元 灌注	1 回
		4000 倍	0.2L/m ²				
	シロバネノメイガ アブラムシ類	4000 倍	0.2L/m ²				
非結球あぶら な科葉菜類 (こまつなを 除く)	アオムシ コナガ アブラムシ類						
いちご	ハスモンヨトウ	1000 倍	25～50mL/株	育苗期後半	1 回	灌注	4 回以内 (灌注は 1 回 以内、散布は 3 回以内)
	ハスモンヨトウ アザミヤカ類 コナジラミ類 コガネムシ類		50mL/株	育苗期後半 ～定植当日			
			25～50mL/株				
			アブラムシ類				

作物名	適用 病害虫名	使用量		使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数	
		薬量	希釈水量					
きゅうり	アブラムシ類	400 株当り 25mL	400 株当り 2～20L (1 株当り 5～50mL)	育苗期後半 ～定植当日	1 回	灌注	4 回以内 (定植時まで の処理は 1 回 以内、定植後 の散布は 3 回 以内)	
	アザミヤカ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類							
トマト ミニトマト	アブラムシ類 アザミヤカ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類		400 株当り 10～20L (1 株当り 25～50mL)					
ピーマン	アブラムシ類 アザミヤカ類 コナジラミ類		400 株当り 10L (1 株当り 25mL)					
	コガネムシ類							
なす	アブラムシ類 アザミヤカ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類		400 株当り 10～20L (1 株当り 25～50mL)					1 回
メロン すいか	アブラムシ類 アザミヤカ類 コナジラミ類		400 株当り 10L (1 株当り 25mL)					
ししとう								

- 【成分】 シアントラニリプロール（通称：サイアジピル） 18.7%
水、界面活性剤等 81.3%
【性状】 類白色水和性粘稠懸濁液体

殺虫剤分類

28

効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 薬液調製後はできるだけ速やかに使用してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用はさけてください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

安全使用上の注意

- 誤飲などのないように注意してください。
- 使用の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮ふに付着しないよう注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。処理器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。水で希釈すると残渣が認められることがあります。品質には影響ありません。
- 密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所に保管してください

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところには置かないでください。
- 空容器はほ場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。